

アライグマによる 農作物などの被害防止

平成30年10月16日発行

農林水産政策課

☎229-3238 FAX229-3168

アライグマは、テレビアニメで人気となった北米原産のアライグマ科の動物で、当時、外国からペットとして輸入されるようになりました。

しかしながら、飼われていたものが捨てられたり、逃げ出したりして野生化し分布が広がり、農作物や生活環境への被害が増加しました。このため、平成17年に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」により、生態系を乱す・人に害を与える・農林水産業に被害があ

る外国産の生物として「特定外来生物」に指定され、ペットとしての飼育なども禁止されました。

一般的に野生鳥獣は、鳥獣保護管理法の対象となり、むやみに捕獲できませんが、多発する被害を防ごうと、津市でも平成26年度に「津市アライグマ・ヌートリア防除実施計画」を作成し、届け出をすれば鳥獣保護管理法の対象外となって捕獲できるようになりました。

特徴と生態

特徴

するどい爪や歯を持ち、気性の荒い個体も多くかみ付いたり引っかいたりすることもあります。成獣の大きさは頭胴長が40～60cm、尾の長さが20～40cm、体重は平均5kg、雄では10kgを超える大きな個体も生息しているといわれています。

目の周辺を覆う黒い部分としま模様の尾が特徴で、尾のしまは5～7本、体色はグレーやブラウンなど数タイプが知られています。活動は主に夜間で昼間も



活動します。ねぐらは家屋・倉庫・空き家等の屋根裏、他の動物が掘った穴などを利用します。1個体が複数のねぐらを持ち、転々としながら農作物に被害を与えます。木登りや泳ぎが得意で水辺を好み河川や用水路、側溝などの水際を利用して移動する習性があります。

繁殖

4月ごろが出産のピークで、出産場所は建物内を利用することが多く、平均4頭生まれます。

食性

雑食性で、果樹や農作物、昆虫、カエル、飼育魚など何でも食べますが、甘いものを好むためブドウやトウモロコシ、スイカ等、糖度の高い作物が狙われやすいです。

被害の状況

農作物被害

収穫時期の田畑や果樹園などに入り、スイカ、ブドウ、梨、イチゴ、トウモロコシなどの農作物を食べます。



ブドウの被害
前脚で袋を破って食べるため、脚の汚れが袋に残ります



スイカの被害
直径5～6cmの穴を空け、前脚を使い中身だけを食べます



トウモロコシの被害
根元から倒し、皮をむいて食べます

生活環境被害

繁殖時期に、雌は屋根裏などに侵入し、出産や子育てをすることがあり、柱や壁などを引っかいて傷つけたり、家をふん尿で汚したりするほか、生ごみをあさるなどの生活環境被害も起こります。



天井の被害
屋根裏にすみ付いたことによるふん尿のシミ



柱の被害
柱に登ったことで付く爪痕